

物流24年問題、対応議論

荷主と運送会社がセミナー



物流の2024年問題について
パネルディスカッションする企
業の関係者＝岐阜市神田町岐
阜商工会議所

トラック運転手の残業規
制適用で物流の停滞が懸念
される「2024年問題」
の対応について考えるセミ
ナーが19日、岐阜市内で開
かれた。「2024年問題
を乗り越えるために」をテー
マにパネルディスカッショ
ンがあり、荷主企業として
パローホルディングス
(HD)、大手物流企業と
して西濃運輸、中小の物流
企業として岐阜梱包の計3
社の経営者や担当役員らが
意見を交わした。
中小の運送会社が同業他

社との共同輸送を実施でき
ず効率化を図れていないこ
とについて、岐阜梱包は「仲
介できる専門家がいらない」
と指摘。ドライバー不足に
関し、西濃運輸は自社の取
り組みを紹介した上で「実
態はなかなかドライバーの
定着率は上がっていない。
取り組みがなければ下がっ
ていた」と述べた。
パローHDは、運送会社
への要望として「荷主にし
っぺ返しが来るので法令を
順守してほしい。コストア
ップになるので、多重下請
け構造を改善してほしい」
と訴えた。セミナーは中部
運輸局岐阜運輸支局と岐阜
労働局、県トラック協会が
共催した。